



「ありがとう」の反対は「当たり前」 「ってきます」と「ただいま」はセットです。



夏休みが始まりちょうど2週間が過ぎました。みなさん、いかがお過ごしでしょうか？
7月20日に行った1学期の終業式で、子ども達に「感謝」と「命」の話をしました。
この2つは、私からの宿題でもあります。

まず、「感謝」についてです。終業式で「ありがとうの反対の言葉は？」と聞くと、「う～ん、何か？」と考える子供達。子供達には少し難しかったようです。ありがとうの反対の言葉は「当たり前」です。「ありがとう」は「有り難い」が語源で、こうあることがとても難しいということですので、こうあることが簡単な「当たり前」が反対の言葉になります。夏休み中は家で過ごす時間が長くなります。お家の方からしてもらっていることは「当たり前」ではなく感謝の気持ちを持って欲しいと伝えました。たくさんの「ありがとう」が子供達から返ってきているのでしょうか？私からの宿題の一つですので、「ありがとう」の言葉がたくさん飛び交っていると嬉しいです。

次は「命」についてです。「命」を守ることにについては、子供達といつも約束をしていることがあります。それは、「ってきます。」と家を出たら、必ず元気に「ただいま！」と帰ることです。これは当たり前のことのようにですが、開放的な夏休みに事故や事件に巻き込まれず「ただいま。」と帰って来るということは、本当に幸せなことです。生きているという証ですから。ご家庭でも、お子さんが出かける時は、「ただいまって必ず帰って来るんだよ。」と声かけをお願いします。お子さんの意識が変わると思います。

この夏休みは、初日に水難事故で3人の命が奪われたり、部活帰りの中学生が熱中症で亡くなったりし、「命」について再度考えることを突きつけられた気がしました。今朝は校内放送で、「命」を守る行動をとることを繰り返し話しました。私からの2つ目の宿題である「ってきますとただいまはセット」を実行し、残り後半の夏休みも、元気に笑顔で過ごしてほしいです。



溝上のつぶやき・・・No.5

我が家のやんちゃ坊主、猫の虎治郎。通称トラ。保護者の方から、「トラちゃんは元気ですか？」「少しは落ち着きましたか？」と気にかけていただき、本当にありがとうございます。年齢は1歳4ヶ月になりました。人間でいえば19歳くらいだそうです。「えっ！もうすぐ二十歳なの！」とびっくりするほど、大人にはほど遠いトラです。

好奇心旺盛なトラのこの頃のお気に入りの遊びは、ゴザマットの下に潜り込むこと。リビングのこたつ用テーブルの下に、ひんやりするゴザマットを敷いているのですが、その下に潜り込み、匍匐(ほふく)前進の様に少しずつ奥へ奥へと入っていきます。マットの端ならスイスイ行けるものを、なぜか進みにくいテーブルの下に入って行こうとします。スタートは調子よく進んでいますが、テーブルの下まで行くとテーブルが重くなるのか、トラの動きが鈍くなります。ゴザマットの微妙なふくらみがとうとう止まりました。ゴザマットの下で何を考えているのやら。「疲れたかな？」と心配していると、またジワジワ進み始めました。ふくらみの移動でトラの頑張り分ります。あと少し！あと少しで反対側に出られるぞ！悪戯をしているトラをいつの間にか応援してしまっていました。

「プハ～ッ」トラがマットの反対側から出てきました。実際は「プハ～ッ」とは言ってはいませんが、そんな風に感じました。窮屈な中を進んで行き、苦しかったと思います。トラにとっては大冒険だったでしょう。

歪んだゴザマットをきれいに敷き直している私を横目に、大好きな先住猫のレオンの側に行きゴロン。疲れて甘えたいのか、ビッタビタにくっついて寝っ転がりました。その日を境にゴザマットの大冒険がお気に入りになったトラです。どんどん進むのが速くなっています。どうしたら要領よくできるか学んでるんだろうなあ。ゴザマットを直しながら、ちょっと感心している私です。

